山と花のたより 118号 2010年5月25日 松尾 メールアドレス tadashi6414@smile.ocn.ne.jp

遥かに加賀白山を仰いで

土庫病院ハイキングクラブ例会=伊吹北尾根

5月18日、土庫病院ハイキングクラブ主催の 伊吹北尾根歩きに参加した。総勢24名を乗せた バスは京滋バイパスから名神をひた走って、9時 過ぎから伊吹山ドライブウェイを登っていく。

他人様に運転してもらって、花と新緑にキョロ キョロしながらのドライブ、何と言う幸せか。

10時過ぎには静馬ケ原から北尾根を歩き出す。 前日のハイキング講座「地質から見た近畿の 山々」で「付加体」を学んだ。付加体とは海洋プ レートが大陸プレートの下にもぐりこむ際に、海

写真下 ヤマブキソウ



写真下 ニリンソウ

洋プレートの上部が剥ぎ取られて大陸に付着したもの。

この伊吹山も「付加体」で、元々は2億5千万 年前に太平洋で形成されたさんご礁だそうだ。

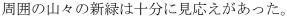
この石灰岩の山は美しい花を咲かせる植物が多 いのでも有名。 写真下 ヒトリシズカ



カタクリはすでに花期を終えようとしているが、イチリ ンソウ、ニリンソウ、ヒトリシズカ、ルイヨウボタン、ヤ マエンゴサク、フタバアオイ、アラゲヒョウタンボク、エ ンレイソウ、ラショウモンカズラ、サンカョウ、クサボケ、 アマナ、ヤマブキソウそしてヤマシャクヤクまでが蕾を解 いて花を見せてくれたのだ。



8日前に横山岳で満開だったイワウチワが花を残していなかったのは残念だったが、





そしてその新緑のうねりを従えるかのよ うに白銀の加賀白山が北方に聳えていた。白 山の英姿を国見岳から遠望できたのは、思い がけなく、そしてこの日の圧巻であった。

この山行はクラブの例会とは言え、力量不 詳・多人数での山歩きの難しさを改めて痛感 させられたものでもあった。

帰宅大幅遅延ながらも全員無事で何より。

性転換する植物 マムシグサ

写真はマムシグサ(蝮草)という植物でサト イモ科テンナンショウ属に属します。特異な形 の花と茎のまむしのような紋様を見たことのあ る人も多いでしょう。

この植物は性転換をすることで有名です。多 年生で若い間は花をつけず、少し力がつくと雄 花を咲かせる雄株になり、さらに大きくなると 雌株になりますが、実をならせて力が衰えると また雄株に戻ったりするのです。それだけ実を つけて種子を残すという作業はエネルギーを必 要とするのですね。それにしても性転換しなが ら個体と種の維持・繁栄をはかるとは驚きです ね



でも性転換は自然界では珍しくなく、イソギンチャクと共存している魚のカクレクマ ノミなどのそれはよく知られています。

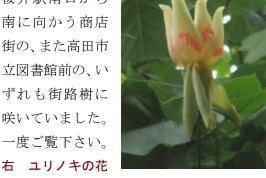
話変わって4月9日の朝日新聞は「ウナギ初の完全養殖」を報じました。今まで養殖 ウナギはほとんどがオスになっていたのですが、稚魚へのホルモン投与でメス化に成功 したとのことです。またワニ、カメ、一部のトカゲでは卵の時の周辺温度によって性別 が決まり、中には染色体の性と孵化後の性とが食い違う事も少なくないそうです。

性のしくみについては更に研究・解明が進められるでしょうが、「オスとメスとの間 に絶対不変の境界線があるのではない」ことは確かでしょう。(写真撮影 澤木仁さん)

街路樹のユリノキ 花が咲いています

ユリノキに花が咲いています。

5月中旬現在、 桜井駅南口から 南に向かう商店 街の、また高田市 立図書館前の、い ずれも街路樹に 咲いていました。 一度ご覧下さい。



クリーンハイクにご参加下さい

今年も清掃登山が全国一斉に行われます。 奈良でも幾つものコースで行われますが、 私が所属するオオヤマレンゲ山の会は下記 の要領で実施します。ご参加下さい。

時 6月6日(日)午前9時出発 所 近鉄吉野線壺阪山駅前 目的地 高取山(高取城址) **服装・装備** ハイキング装備、リュック、 雨具、弁当、水筒、

参加費 200円 (以上118号)